

東北電力（株）東通原子力発電所から図書寄贈



6年生の図書委員のみなさん（小学校図書室にて）



佐藤所長(右)から目録を受け取る越善村長

電気記念日

明治11年3月25日、東京虎ノ門の工部大学校で、公衆の前で初めてアーク灯がともされたことを記念し、昭和33年、日本電気協会の総会で3月25日が電気記念日と定められました。

3月25日の「電気記念日」の日、東北電力(株)東通原子力発電所 佐藤敏秀所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象とした図書54冊を東通村へ寄贈しました。

同社は、「電気記念日」や「原子力の日(10月26日)」にちなんで、平成10年から村内の小・中学校へ教育関連図書を寄贈しています。

31回目を数える今回は、エネルギーや環境に関する図書のほか、歴史や職業など子供たちの総合学習に役立つ図書、村が進める英語学習に役立つ図書も寄贈いただきました。

これらの図書は東通小・中学校の図書室に収められ、休みや放課後に子供たちに親しまれています。

相内ふでさん 満100歳顕彰式

白糠地区にお住いの相内ふでさんがこのほど、平成26年3月29日で満百歳の誕生日を迎えられました。

林春美副村長から「どうかいつまでもお元気で、明るく、楽しく過ごされ、長寿でいられますように」とお祝いのことばをかけられ、長寿を称える顕彰状と百歳祝金(百万円)が贈られました。この制度は平成6年の条例制定以来、村では19人目となります。

ふでさんは大正3年3月29日に老部に生まれ、同地区の相内多次五郎さんと24才で結婚、7人の子宝に恵まれ、17人のお孫さん12人の曾孫さんに恵まれました。

ふでさんは今回の顕彰に際し、家族や親戚の方の祝福を受け、終始満面の笑顔でうなずいておりました。

これからも健康で長生きしてください。おめでとうございます。

